

パキスタン国バロチスタン州の中間流通業者の役割について

<その2>

中間流通業者の役割と功罪

前号では、パキスタン国バロチスタン州(以下、パ国およびバ州)の農産物流通の概観と主な中間流通業者について紹介した。本稿では、バ州の農産物流通下の農家にとって、困難となりうる条件と、その条件下における中間流通業者の役割を説明する。

前号の通り、バ州は複雑な地相で市場アクセスが悪く、流通施設が不十分で、公的市場や市場運営組織の数が極端に少ない点の一つの特徴である。このような条件下においてもバ州がパ国において有数の果樹産地であり続けられる要因の一つが、中間流通業者の役割であると考えられる。バ州の農家の7割近くが小規模農家であり(Agriculture Census, 2010)、各自で州外の市場情報を取得して価格の交渉をしたり、州外市場や消費者までの流通を手掛けたりすることは困難である。そのため多くの農家が、中間流通業者に頼ることで、生産物を州外市場に卸していると考えられる。ある報告によると、バ州で生産された約7割の果物が中間流通業者の手で州外市場に流通しているとのことである(IFPRI, 2021)。

制度面については、農家を保護するため、公正な農産物の売買取引を定める Balochistan Agricultural Produce Market Act, 1991 がある。しかしながら、公的市場が少なく州外取引が多いバ州では、小規模農家を支える制度とはなっていない。また市場情報を発信する、バ州が管理する Balochistan Marketing Information System もあるが、大半の農家が読めない英語表記であり、更新頻度が少なく、農家にとって有用な情報ソースとは言にくい。そのため農家は、市場情報を流通業者や近隣農家に依存している傾向がある(ITC, 2020)。こういった流通インフラの未整備や市場情報の不足の情報を補う中間流通業者の役割は農家にとって欠かせないものである。

中間流通業者は、生産物の流通のみならず、生産段階から農家に関わっている。先にも述べてい

る通り、バ州の地相は複雑であるため、農家は、農薬や肥料といった農業生産資材に十分にアクセスできておらず、また公的な技術普及サービスも十分に届いていない為、資材を有効に活用できていない。そのため、農家は資材調達や栽培技術においても、前号で説明した契約栽培業者(Pre-Harvest Contractor)に頼らざるを得ない状況にある。加えて、銀行サービスも行き届いていないため、農業生産資材の購入資金についても、委託代理業者(Commission Agent)を頼って資金を調達せざるを得ない状況である。

このようにバ州の地理的悪条件、流通・情報インフラ、金融サービスの不足などに起因する、生産から州外市場との価格形成や販売までの流通の隔たりを埋めているのが、契約栽培業者や委託代理業者等の中間流通業者であり、バ州農業における彼らの役目の重要性がわかる。一方で、これらの条件を背景に、中間流通業者は農家に対してずいぶんと優位な立場で商取引を進めている側面もある。また中間流通業者が実施する営農指導は、経済性重視に偏りがちで、資源管理の視点に乏しく、農業生産の持続性に悪影響を及ぼす可能性が指摘されている。例えば、バ州は地下水資源の枯渇等が長年の課題となっているが、市場需要起点の灌漑による農業生産が一つの原因と考えられている。加えて、生産から流通まで中間流通業者が介在していることから、生産や流通コストの削減やマーケティングの幅がほとんどなく、農業経営における自助努力の機会が限定的になっている。

バ州における中間流通業者の果たしている役割の重要性は疑うところはない。上述した条件下では農家と中間流通業者との関係が大きく変わることはないだろうが、中長期的な両者の利益を考えると、公的な農業普及サービスの質と量の向上を図り、農家の農業経営の自助努力の幅を広げる為の働きかけや、農家に多様な生産技術を学んでもらうこと等は重要であると考えられる。